

愛媛県立図書館利用案内

★本を借りるとき★

1. 「利用カード」を作しましょう。
 - ・愛媛県在住・在学の方は、だれでもカードを作れます。
 - ・本人の住所確認ができるもの（生徒手帳や保険証など）が必要です。
2. 本は、5冊まで3週間借りられます。
 - ・カウンターに、借りたい本とカードを出してください。
 - ※本は大切に扱い、友達に貸したり失くしたりしないようにしましょう。

★本を返すとき★

1. 返す本をカウンターに出してください。（カードはいりません。）
 - ・次の予約が入っていない場合は、延長ができます。
2. 図書館が閉まっているときは、玄関外の返却ポストに入れてください。
 - ※本が汚れていたり、大事なものはさんだりしていないか確認してください。
 - ※返却期日は守りましょう！！

★本を探すとき★

1. 図書館の検索用コンピュータで探すことができます。
（書名や著者名で検索できます。）
2. インターネットや携帯電話から探すこともできます。
 - ※分からないときには、カウンターでたずねてください。

★本を予約するとき★

1. 予約カードに必要事項を記入して、カウンターに出しましょう。
2. パスワードを登録すると、インターネットや携帯電話から予約することもできます。
 - ※パスワードの登録は、カウンターで申請してください。



みきゃん

愛媛県立図書館

〒790-0007 愛媛県松山市堀之内

TEL:089-941-1441(代) FAX:089-941-1454

★開館時間★(火～金)午前9時40分～午後7時
(土日・祝日)午前9時40分～午後6時
(子ども読書室は午後5時まで)

★休館日★ 月曜、館内整理日(月末)、年末年始

<http://www.ehimetosyokan.jp/contents/index.htm>
(携帯サイト <http://www.ehimetosyokan.jp/contents/i>)

愛媛県立図書館 YAコーナー

YAつうしん

Vol. 29 2013. 8



←携帯サイトはこちら。
本の検索や予約ができます。
登録にはパスワードの申請が必要です。

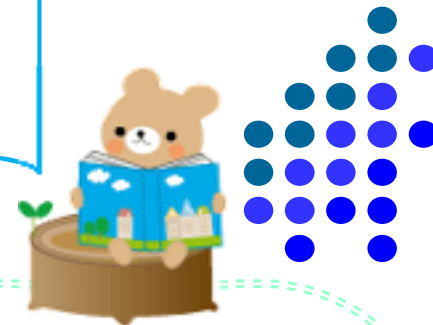


ぼくらの文学

～名作を読む、夏～



名作は何年たっても名作！
若い人にぜひ読んでもらいたい名作を
集めました。



『21世紀版少年少女日本文学館 7 幼年時代・風立ちぬ』

室生 犀星/著 佐藤 春夫/著 堀 辰雄/著 講談社

室生犀星・佐藤春夫・堀辰雄の繊細で、美しい短編を集めた作品集。堀辰雄『風立ちぬ』はこの夏公開のジブリ映画の題にもなっています。

・・・「風立ちぬ、いざ生きめやも。」

重い病に冒された女性と療養生活に付き添う婚約者の青年の悲しい愛の物語。

「お前のことをもっとももっと考えたいんだ・・・」。

残された時間の中で、生きることや幸福の意味を考え、思い合う恋人たちの姿が美しい言葉で描かれています。



『星の王子さま』

サン＝テグジュペリ/原作

奥本大三郎/訳 白泉社(表紙掲載分)

永遠の「定番」、『星の王子さま』。読む人の年齢や、心持ちによってさまざまに変化する作品です。この夏、もう一度読み返してみませんか？

ある星からやってきたひとりぼっちの王子さまと、サハラ砂漠に不時着した飛行機乗りが会い、王子さまはさまざまな星での出来事を話します。

原作はフランス語で、複数の日本語訳があります。訳し方によって味わいもさまざま。自分の好みの訳を探してみてください。

『本をもっと楽しむ本 読みたい本を見つける図鑑 1 主人公(名作)』

塩谷京子/監修 学研教育出版

名作の主人公は「いいひと」ばかりではない？
『坊っちゃん』『オズの魔法使い』『三国志』・・・まだ読んでいない、読んだけれど忘れてしまった名作の内容が、イラストつき見開き1ページでよくわかる！
この本を読んで全部読んだつもりになるか、この本を読んだ後、作品を全部読んでみるかはあなた次第！？巻末の「物語をもっと楽しむための参考図書」も読んでみよう！



- ①六つのとき、原始林のことを書いた「ほんとうにあった話」という、本の中で、すばらしい絵を見たことがあります。(内藤 濯 訳)
- ②六歳のとき、『体験した話』という原始林についての本の中で、すばらしい絵を見たことがあります。(小島 俊明 訳)
- ③六歳のとき、ジャングルのことを書いた『ほんとうにあった話』という本の中で、すごい絵を見たことがある。(倉橋 由美子 訳)
- ④ぼくが六つ(むっ)のときのことだけど、ジャングルのことを書(か)いた本(ほん)の中(なか)で、すごい絵(え)を見(み)たことがあるんだ。(奥本 大三郎 訳)
- ⑤6歳(さい)のとき、ぼくはある本(ほん)の中(なか)で、大(おお)きな大(おお)きなへびのことを読(よ)んだ。(池澤 夏樹 訳:絵本版)
- ⑥6歳の時、原生林のことを書いた『ほんとうの物語』という本の中で、ぼくはすばらしい絵に出会った。(池澤 夏樹 訳)
- ⑦6歳のころ、あるときわたしは、『ほんとうにあった話』という題名の原生林にかんする本のなかで、すばらしい挿絵を見つけました。(山崎 庸一郎 訳)



ご質問やご意見は、メールでも受け付けます。

アドレスは、ya@ehimetrosyokan.jp

(件名に「YAメールレファレンス」と入れてください。)

★お名前、連絡先メールアドレスも忘れずに入力してください。